



<取材のお願い>

2023年10月6日

高崎健康福祉大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

日本、ベトナム、タイ、台湾の看護学生がICT技術を活用した高齢者看護を学ぶ ～科学技術に基づく看護イノベーションプロジェクトの創出を目指して～

高崎健康福祉大学では、10月15日（日）～10月22日（日）、ホーチミン市医科薬科大学（ベトナム）、タマサート大学（タイ）、弘光科技大学（台湾）から優秀な大学生10名を招へいし、本学の学生とともに、先端的な看護技術を学ぶ科学技術体験プログラムを実施します。来日するのは看護学を専門に学ぶ優秀な学生たちです。

ベトナム、タイ、台湾では、家族による看護が文化として根付いています。また、日本と同様に急速な高齢化が進行していることから、高齢者の安全や自立を支えるための科学的根拠に基づいた看護教育への期待が高まっています。本プログラムでは、招へい学生らが日本で近年看護分野に活用されているICT技術（情報通信技術）を学び、自国のニーズに応えるための看護のイノベーションプロジェクトを創出することを目標とします。

VR（バーチャルリアリティ）教材を用いた解剖学の講義では、3D画像により高齢者の身体的特徴をあらゆる角度から立体的に捉える演習を行います。また、多職種連携ハイブリッドシミュレーターを使い、認知症、排泄、嚥下障害などへの看護ケアを体験します。さらに、本学の附属訪問看護ステーションでは、地域で暮らす高齢者の在宅療養を支えるテレナーシング（ICT技術と遠隔コミュニケーションを通じて提供される看護活動）を実体験し、遠隔医療が在宅療養者への看護支援にどう活かせるかを学びます。また、シンポジウムを開催し、本学の教員や学生らと各国の医療事情に応じた研究テーマについて意見を交換します。さらに、竹細工、和紙などの手作り体験や、本学の大学祭にて日本の文化に触れる機会も設けました。本プログラムにより、ベトナム、タイ、台湾との協力体制が深まり、より優れた看護の実現に向けた共同研究に発展することが大いに期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>





つきましては、参加学生たちがプレゼンテーションやディスカッションをする様子、演習によりVR教材を用いて解剖学やテレナーシングを学ぶ様子、シンポジウムの様子、プログラムのまとめとして創出した看護イノベーションプロジェクトを発表する様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の渡邊秀臣副学長へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】 ●特別講義 ●演習 ●視察 ●シンポジウム
●イノベーションプロジェクトの発表・意見交換 ●文化交流

【実施場所】 高崎健康福祉大学、
同大学附属看護実践開発センター、同大学附属訪問看護ステーション他

【研修日程概要】

10月15日(日)	午前：入国 午後：オリエンテーション（高崎健康福祉大学）
10月16日(月)	午前：大学紹介（高崎健康福祉大学） 午後：特別講義①日本の医療システムについて（同上） 参加学生によるプレゼンテーション、ディスカッション
10月17日(火)	午前：看護学科キャンパスツアー（高崎健康福祉大学） 特別講義②高齢者看護 / ハイブリッドシミュレーターを用いた演習（同上） 午後：視察 伊勢崎市民病院、介護老人保健施設ひまわり
10月18日(水)	午前：特別講義③ 遠隔医療におけるテレナーシングの構築（高崎健康福祉大学） 同大学附属看護実践開発センター視察 午後：同大学附属訪問看護ステーション視察／テレナーシング体験
10月19日(木)	午前：特別講義④高齢者の日常生活動作（高崎健康福祉大学） 特別講義⑤VR教材を用いた解剖学講義・演習（同上） 午後：シンポジウム（同上）
10月20日(金)	午前：「高齢者体験スーツ」を着用して高齢者の疑似体験（高崎健康福祉大学） 午後：イノベーションプロジェクトの発表、意見交換会（同上）
10月21日(土)	午前：大学祭参加（高崎健康福祉大学） 午後：文化交流（たくみの里）
10月22日(日)	午前：羽田へ移動 午後：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

高崎健康福祉大学
(担当：李)

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
(担当：田中(禎)、太田)